

# 公衆衛生看護管理論Ⅰ

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分/単位数	演習/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

地域の健康課題を解決するための地域診断について学修する。先進事例を学び、地域診断のステップをアセスメント、情報収集等、得られた情報の分析を行う。その後、地域の健康課題を解決するための方策を検討し、実施可能な事業を考える。考えられた事業の提案をするため、地域診断の経過をわかりやすくまとめ、発表を行う。また、地域診断の各段階(計画立案、実施、事業化、提案)について評価を行う。

## ・教育成果(アウトカム)

地域アセスメント<地域診断>に基づき地域の健康課題を明確化し、事業化・施策化の具体的な方法を学び、公衆衛生看護学実習地域の地域保健活動を分析することで、公衆衛生看護管理の基本技術を習得することができる。

## 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるよう に看護職者の地域活動の機能を理解する。

## ・到達目標(SBO)

1. 公衆衛生看護活動における地域診断の意義を説明できる。
2. 地域診断の展開過程を説明できる。
3. 実習地域の地理的特徴を把握できる。
4. 実習地域の既存資料から地域の健康と生活・環境に関するデータおよび保健事業の状況を整理できる。
5. 実習地域の整理した情報からアセスメントし健康課題を抽出することができる。
6. 健康課題の優先順位をつけ、地域の多職種・多機関の機能を生かし具体的な事業が提案できる。
7. 実習地域の地域診断・事業化の過程をまとめプレゼンテーションできる。
8. 作成した地域診断を実習地域で検証する視点を持つことができる。

## ・授業日程

### 【講義】 会場: トクタヴェール講義室2、マルチ4-A講義室

月 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 月 4限	<p>【授業内容】実習地域の既存の資料の把握(ペアワーク、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存資料やWeb情報から実習地域(市町村)の上位計画や各種保健医療福祉計画等の把握ができる</li> <li>・実習地域の特徴をわかりやすく説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、4</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生で履修した「保健医療福祉行政論」の各種計画を復習する</li> <li>・実習地域の地理的特性、社会資源を調べ、プレゼンテーション資料を作成し提出する</li> </ul>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
4/8 月 5限	<p>【授業内容】公衆衛生看護活動における地域診断の意義と展開過程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護活動における地域診断の意義・目的・対象・展開過程・方法を説明できる</li> <li>・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用した、情報分析の視点を説明できる</li> <li>・実習する保健所・市町村の位置的な把握ができる</li> <li>・保健所管内の市町村・2次医療圏を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3</p> <p>【事後学修:60分】実習市町村のコミュニティコアをまとめる</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

4/24 水 2限	<p>【授業内容】実習地域のデータ分析1(ペアワーク、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティコアに関する情報収集ができる</li> <li>・地域のサブシステムに関する情報収集ができる</li> <li>・実習地域の社会資源マップを作成し、地理的な特徴を捉えることができる</li> <li>・実習地域の特徴をわかりやすく説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3、4、7</p> <p>【事前学修:90分】プレゼンテーション資料を作成し提出する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
4/24 水 3限	<p>【授業内容】実習地域の健康課題の抽出(ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地域のコミュニティコアとサブシステムの情報を統合しアセスメントできる</li> <li>・地域の強み・弱みが見い出すことができる</li> <li>・収集したデータから関係性を整理し、関連図に示すことができる</li> <li>・既存統計資料を活用した実習市町村の分析、健康課題を検討できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事後学修:30分】発表内容を振り返り、加筆修正する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/4 火 3限	<p>【授業内容】実習地域の健康課題の抽出(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地域の健康課題について、根拠となるデータを用いて、わかりやすく説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5、7</p> <p>【事前学修:90分】</p> <p>・実習地での発表を想定し、プレゼンテーション資料をわかりやすく作成し提出する</p> <p>・地域診断シートを作成する</p> <p>【事後学修:30分】発表内容を振り返り、加筆修正した上で健康課題の優先順位の検討を行う</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
6/4 火 4限	<p>【授業内容】健康課題に対する策化・事業化(グループワーク・ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業計画立案に必要な情報収集・分析、優先順位の検討などの方法を整理できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】6</p> <p>【事後学修:60分】実習地域の明らかになった健康実態、地域特性をもとに、健康課題解決に向けて必要な事業を考える</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/11 火 1限	<p>【授業内容】保健事業計画立案(健康教育立案)(グループワーク・ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかになった健康実態、地域特性をもとに、健康課題解決に向けて必要な事業を考え、その一部について健康教育計画を立案できる</li> <li>・実習地域での発表を想定した、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】6</p> <p>【事前学修:60分】プレゼンテーション資料を作成する</p>	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教
6/11 火 2限	<p>【授業内容】保健事業計画立案(健康教育立案)(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習地での発表を想定した、地域診断および健康教育計画を、わかりやすく説明できる</li> <li>・不足な情報を捉えることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】7、8</p> <p>【事後学修:90分】発表内容を振り返り加筆修正し、今までの発表資料を統合させて提出する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
6/17 月 1限	<p>【授業内容】実習地域のデータ分析2(ペアワーク・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習保健所圏域のコミュニティコア(人口構成、疾病構造、生活習慣等)、サブシステムの情報から、特徴を見出すことができる</li> <li>・実習保健所圏域の健康課題を分析できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3、4、5、6</p> <p>【事前学修60分】県の医療計画や健康増進計画から、保健所圏域の保健医療圏および保健医療提供体制、健康課題について調べる</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/17 月 2限	<p>【授業内容】実習地域の保健活動の理解(ペアワーク・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所で行われている地域保健活動を調べ、その法的位置づけおよび役割を説明できる</li> <li>・保健所保健師の役割を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3、4、5、6</p> <p>【事後学修:30分】保健所実習で確認していくことを整理する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/19 水 2限	<p>【授業内容】地域診断に基づく活動の展開(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を対象として活動を展開する保健師の視点、健康課題の把握、実践、住民との協働、評価の一連を関係付けることができる</li> <li>・健康課題解決に向けた保健師の役割を考えることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:30分】配布資料から、活動展開過程を整理する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/19 水 3限	<p>【授業内容】地域診断に基づく活動展開過程における保健師の役割(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康課題解決に向けた保健師の役割を説明できる</li> <li>・地域診断に基づく活動展開における保健師の役割を述べることができる(ディスカッション)</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事後学修:30分】地域診断に基づく活動展開過程の要点を整理する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

6/24 月 1限	<p>【授業内容】行政における保健計画策定        ・政策・施策・事業の構造を理解できる        ・上位計画や各種保健医療福祉計画を把握し、健康課題解決のためのプロセスを説明できる        ・保健事業評価の視点を説明できる        【関連するSBO】1、2        【事前学修:60分】実習地域の各種保健医療福祉計画、ホームページ等から保健事業を1つ取り上げ、計画との位置づけを確認し、事業の実施の背景を調べる</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/24 月 2限	<p>【授業内容】実習地域の保健活動の展開過程(ペアワーク)        ・保健事業をPDCAサイクルで整理できる        ・事業の計画・実施・評価の一連の過程を説明できる        【関連するSBO】1、2        【事後学修:30分】「保健活動展開過程のまとめ」を作成する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
7/3 水 2限	<p>【授業内容】PDCAに基づく施策化・事業化プロセス        ・PDCAサイクルを回す意義を説明できる        ・事業化、施策化の展開過程を理解し、保健師の役割を考察できる        【関連するSBO】1、2        【事後学修:60分】地域診断過程、事業化の過程を振り返り、活動展開について考えたこと、今後の活用について考えたことをまとめ、提出する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
教	標準保健師講座1公衆衛生看護学概論 第6版	標美奈子		医学書院	2022
参	地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版	佐伯和子		医歯薬出版	2018
参	コミュニティーアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版	エリザベスT.アンダーソン		医学書院	2007
参	地域特性がみえてくる地域診断	都筑千景		医歯薬出版	2020
参	標準保健師講座 別巻1保健医療福祉行政論 第5版	藤内修二		医学書院	2021
参	PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動 改訂版	守田孝恵		クオリティケア	2019
参	公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版	佐伯和子		医歯薬出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験30%、指定した提出課題および地域診断プレゼンテーション70%  
 【形成的評価】適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・ペアワークを中心に演習を行う。地域診断の課題は段階を踏みながら進める。その段階ごとにWebClassを活用した資料提出を求める。提出期限は授業で指定する。
- ・提出された資料には、コメントを添えてフィードバックする。
- ・地域診断のプレゼンテーションは評価表に基づき評価する。
- ・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

【その他】

Webサイト利用・資料作成のため、全員パソコンを持参のこと(指示する)

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師(別表1):公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター(VPL-FW60)	1	講義用スライド投影
演習	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影
演習	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義用資料投影